

【日本企業の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本企業PR(ブラジル)

在サンパウロ総領事館

開催日： 令和5年2月14日

場 所： 在サンパウロ総領事公邸

主 催： 在サンパウロ総領事館

協力／参加企業：ダイキン、ミウラボイラ、久光製薬、EPSON、三菱自動車、ヤマハモーターズ、トヨタ自動車、SUNSUY、PILOT、日清食品、サントリー、味の素、キッコーマン、ヤマト商事、ニッポンベビーダス、メガサケ、JFC



【概要】

- 本年2月、在サンパウロ総領事公邸において、天皇誕生日祝賀レセプションが、コロナの影響による2年間の休止を経て、久しぶりに対面で開催された。
- 同レセプションには、サンパウロ州に事務所を置き、ブラジル国内や中南米に事業を展開する日系企業17社が出展し、企業PRや日本産酒類の普及のため、特徴や産地などの説明を行うとともに試飲を行った。



【結果】

- 3年ぶりの対面開催ということもあり、レセプションには州政府高官、日系団体、日系企業等を含む420名が出席し、盛況であったことから、出展企業は効果的なPRが実施することができた。
- 日本産酒類（日本酒、焼酎、泡盛、梅酒、ジン等）について、5社が展示し、説明及び試飲を行ったことにより、日本には豊富な酒類が存在することや、それぞれの特徴や味を多くの参加者に認識していただくことができた。
- 現地邦字紙ブラジル日報に「在聖総領事館 天皇誕生日を400人で祝う 日系企業17社が開催協力」と報道された（報道ぶり右参照）。



ブラジル日報

DIÁRIO BRASIL NIPOON 2023年2月16日

在サンパウロ総領事館-天皇誕生日を400人で祝う日系企業17社が開催協力

在サンパウロ総領事館主催の「天皇誕生日祝賀レセプション」が14日正午、サンパウロ市の総領事公邸で行われ、日系団体、州政府、日系企業関係者ら約400人が出席した。コロナ禍による2年間の休止を経ての開催となった。

祝賀レセプションは自給自足の園遊会形式で、挨拶に立った最長員は在サンパウロ総領事館、皇室として御膳は思い入れのある園遊会であること、現在の元号「令和」には「美しい賢和」の意味が込められていることなどを紹介し、「日本だけでなく、人間が真の意味で平和のとれた時代を願うことを、すべての日本人が願っています。ブラジルのような大切なパートナーがいることは、私にとって非常に重要なことです。どうぞよろしくお願いいたします。」

来賓挨拶としてライオン・ダ・マツ/在サンパウロ事務所次長のアフォンソ・マツチサンパウロ 領事館長、マルタ・スプリング/サンパウロ州副知事兼局長（州知事代理）が登場し、天皇誕生日に対する祝辞を述べると共に、領事館の自給自足文化交流及び技術協力に対する感謝を述べた。

レセプション開始には日系企業17社が出展し、各社は協力企業の活動展示ブースも展開された。日本産品の輸入を手掛けるヤマト商事の本館第一部長は「威力が天宮陛下の御礼の日に花を添えることが出来、嬉しく思います」と語った。

式典後には懇話会が催され、参加者は日本食に舌鼓を打ちながら親交を深めた。レセプションに参加したC LATE（園外労働者情報支援センター）の副山新専務理事は「いろいろな方々天皇陛下誕生日をお祝い出来て良かった。今後も自給自足の文化や経済活動の繋がりが強くなってほしい」と話した。

レセプションでは展示による電子モニタリングも行った。電子モニタリングを行った国際交流基金サンパウロ日本文化センター副館長は「コロナ禍で天皇誕生日祝賀会は今年初めて開催される貴重な機会となった。再開を嬉しく思うとともに、この祝賀会は山田の交流が生まれる大事な機会であることも感じた」と語った。

レセプション協力企業は次の通り、ダイキン、ミウラボイラ、久光製薬、EPSON、三菱自動車、ヤマハモーターズ、トヨタ自動車、SUNSUY、PILOT、日清食品、サントリー、味の素、キッコーマン、ヤマト商事、Nippon Bebidas, Mega Sake, JFC。